

7. 舞鶴市木船家文書調査

長谷川巴南

ここでは地域貢献型特別研究費（ACTR）「海と森の京都の融合による文化観光拠点の形成—舞鶴市東舞鶴地区と綾部市上林地区の文化資源の発掘と活用—」（研究代表者：横内裕人）の調査の一環である舞鶴市木船家文書調査と、その成果を公開した特別企画展「鎮守府がやってきた！—海の地図と伊藤雋吉と海軍と」の紹介を行う。

1. 舞鶴市木船家文書調査

2021年度、文化情報学研究室では、舞鶴郷土資料館の小室智子氏や舞鶴地方史研究会の会員の方と共同で、木船家文書の調査を行った。調査は舞鶴市郷土資料館にて、舞鶴市・舞鶴地方史研究会などと連携し、2013年から継続して行っているものである。木船家文書は、舞鶴市溝尻地区の大庄屋・木船家の、近世・近代にわたる約1万点の文書群である。

調査日程 2021年7月10日・11日、10月2日・3日、12月4日
2022年1月15日・16日、3月19日・20日

調査参加者 東昇（教員）、滝澤和湖（博士前期課程1回生）、長谷川巴南、正瑞千幸（以上、4回生）、北原美咲、鈴木詩織、藤原あかり、吉富絵音（以上、3回生）、武田知奈、渡邊幸奈（以上、2回生）

木船家文書の調査は、文書1点ずつの目録作成、ラベル貼り、写真撮影を実施しており、今年度は主に目録作成・写真撮影を進め、今後も調査を継続して行う。

2. 特別企画展「鎮守府がやってきた！—海の地図と伊藤雋吉と海軍と」

今年度は、明治34年（1901）に海軍舞鶴鎮守府が開かれて120年となる。舞鶴市では、舞鶴出身で海軍省次官を長年勤め、舞鶴鎮守府開庁に関わった伊藤雋吉に関する特別企画展示「鎮守府がやってきた！—海の地図と伊藤雋吉と海軍と」が開催された。この展示では上記調査の成果をふまえ、木船家文書が展示された。

展示概要 海上保安庁 海図150周年・舞鶴鎮守府開庁120周年記念特別企画展「鎮守府がやってきた！—海の地図と伊藤雋吉と海軍と」

期間 2021年10月2日（土）～10月31日（日）9：00～17：00

場所 赤れんがパーク3号棟（智恵蔵）企画展示室



写真1 木船家文書目録作成の様子



写真2 木船家文書写真撮影の様子

海上保安庁海図150周年・舞鶴鎮守府開庁120周年
チンジユブ
記念特別企画展

海の地図と伊藤雋吉と海軍と

鎮守府がやってきた！

日本で近代的海図づくりが始まって150年。
舞鶴鎮守府が開庁して120年。
明治期の海図作成に携わり、舞鶴鎮守府の設置にも尽力した、舞鶴出身の海軍次官 伊藤雋吉にフォーカスして、海図づくりからはじまった舞鶴鎮守府設置とまちの歩み、関連海図などを紹介します。

2021
10.2 (土) ▶ 10.31 (日)

会場：舞鶴赤れんがパーク3号館 / 智恵蔵 企画展示室
開館時間：午前9時～午後5時
※初日は10時からテークアウト後開場
休館日：なし 入場料：無料

主催：舞鶴市・海上保安庁第八管区海上保安本部
お問合せ：舞鶴市郷土資料館 (TEL: 0773-75-8836)
第八管区海上保安本部海洋情報部 (TEL: 0773-76-4100 (代表))

写真3 特別企画展のチラシ